

立命館大学 第68回 不戦のつどい2021企画 in OIC (大阪いばらきキャンパス)

テーマ：いま平和を考える～フクシマから10年～

日時：2021年12月14日(火) 16:40～18:30
会場：立命館大学OIC B棟3階コロキウム (B374)
※対面＋同時配信のハイブリッド企画とします
※会場参加は要予約とします(人数制限あり)
※話題提供の後に、会場を中心に質疑応答、
ディスカッション、感想交流を行ないます。

申込先：wp-event@st.ritsumeai.ac.jp
(①名前、②所属、③連絡用メールアドレス、
④電話番号、⑤会場参加希望のご連絡をお願いします)
(開催前日までにzoom案内メールを送信します)

話題提供者：

村本邦子先生(人間科学研究科教授)

司会：山崎文徳(経営学部教授)

主催：不戦のつどい実行委員会(OIC)

共催：立命館大学国際平和ミュージアム・立命館生
協OIC学生委員会・立命館大学教職員組合

連絡先：立命館大学教職員組合 rits_union@yahoo.co.jp

■趣旨

- ▼平和とは直接的・間接的・文化的暴力のない状態のことです。その意味で、これまでの企画では戦争など直接的暴力に関係するテーマを扱うことが多かったのですが、今回は、間接的暴力ととらえることのできる事故・災害・環境問題をテーマとします。
- ▼村本先生は臨床心理士であり、人間に関わる臨床実践に根差した研究をされてきました。戦争や災害、虐待、性暴力、DVにおける暴力と抑圧の歴史を研究されてきました。そもそも、心理学は戦争の歴史とともに発展してきたと言っても過言ではないとのことです。
- ▼東日本大震災を受けて「東日本・家族応援プロジェクト」を立ち上げ、十年計画で毎年東北4県を巡回されてきました。その内容はご著書『周辺からの記憶：3・11の証人となった十年』をご覧ください。

■不戦のつどいとは

- ▼不戦のつどいとは、かつて多くの学生を戦場に送り出してしまったという反省に立ち、大学は「二度と学生を戦地に送り出さない」、学生は「二度とペンを銃に持ち替えない」という反戦・平和の誓いを全ての学園構成員で確認することを目的として、毎年12月8日前後に「像前集会」を中心とした様々な企画を開催してきました。
- ▼彫刻家本郷新氏が制作した戦没学生記念像「わだつみ像」を受け入れ、その像の前で開催した第1回(1954年12月8日)から数えて今回が68回目の開催となります。